



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

児童生徒に係る入学準備金の支援は取り組むのか

町長 次年度新規事業として取り組む予定である

子育て世帯への臨時特別給付金について

質問

国 の施策である18歳以下への10万円相当の給付について、国は方針転換を示しました。これを受けての町長の対応を伺います。

町長 可能であれば、10万円の現金給付で年内に中学生以下、年明けに高校生に支給できないか準備しています。今定例会議の中で、追加提案を考えています。

ワクチン接種の準備状況について

質問

3回目のコロナワクチン接種のスケジュールを広く町民に発信し、安心感を持っていただくことが必要です。併せて、感染確認における情報開示、生活支援チームの対応について伺います。

町長 現時点での接種スケジュールについては、医療

従事者は1月中旬から。65歳以上の高齢者は2月上旬から開始する予定です。

感染確認の情報開示については、町職員以外は、道が公表した内容の範囲で公表します。対策本部に設置した生活支援チームは、速やかに支援できる体制を整えています。

子育て支援の進捗状況について

質問

6月定例会議において質問した、子育て世帯の児童生徒に係る入学準備金の支援について、次年度事業として取り組むのか伺います。

町長 将来を担う子供たちが、しっかりと教育を受ける体制や環境を作るべきだと考えています。子育て世帯の経済負担軽減施策として、小中学校入学時における支援などを、次年度新規事業として取り組む予定です。

教育環境の安全について

質問

今 問題となっているのは、情報機器の管理と、情報倫理教育です。町の取り組みと成果を伺います。次に、先般行われた通学路の点検において、危険個所の有無、改善すべき箇所はあったのか伺います。

教育長 本町が配置しているタブレットにつきましては、児童生徒一人一人が自分のパスワードで利用し、学校が台帳で管理しています。また、小学5、6年生とその保護者を対象に、外部講師を招いて「情報モラル教室」を行い、スマートフォンなどが持つ危険性、ネットいじめなどについて理解を深めていただいています。いじめ防止は、今後も重点課題として取り組んでいく必要があると考えています。

次に、通学路の合同点検では、ふるさと通り線2か所の交差点に信号、横断歩道がない状況であり、安全な道路を通学するよう各学校に、通学ルートの再検討をしていただいています。

猟友会の維持、存続について

質問

近年、頻発している罾被害の対策において頼りにされているのが猟友会の方々です。

一方、次を担う人材の育成が進んでいない現状です。さらに、猟友会への処遇改善も考慮すべきと考えますが見解を伺います。

町長 新規猟友会加入を促進させるとともに、罾対策技術者育成のための捕獲を実施し、担い手育成を進めています。処遇改善については、猟友会と協議し報酬などの見直しを行い支援していきたいと思います。